

わが国のウォーターフロントにおける水面夜景の演出に関する研究

—(その2)水面形態別にみた構図的特徴—

A Study on the Nightscape on the Water Surface

(Part2) Features of the scenery composition in the each shape of water surface

○島根亘¹, 横内憲久², 岡田智秀², 稲葉諒介³, 大塚雄太¹* Koh Shimane¹, Norihisa Yokouchi², Tomohide Okada²,
Ryosuke Inaba³, Otuka yuta¹

Abstract: This paper clarified that UKIYO E that was drawn by Kiyochika Kobayashi and Hasui Kawase has four types of the water surface form. And those types have each feature of scenery composition on the water surface.

1. はじめに—前稿では、水面に映し出された光の構成要素と光以外の構成要素の特徴および両者の関わりについて分析を行った。そこで本稿では、水面に映し出された情景が水面の形態によってどのように特徴づけられているかを明らかにする。

2. 分析方法—本稿では前稿で分析対象とした絵図^{[1][2]}44点のうち、水面形態と陸域や水平線の位置関係から分類できた39点について、「対岸型」「流軸型」「両岸型」「水平線型」の4つの型を得た。そこで、これらの型別に、水面に映し出されている該当要素(表中●印)と、水面を除く絵図中に描かれている該当要素(表中○印)および各要素の合計数を示したものが表1である。また、各型において水面に映し出されている各要素(表中●印)のうち、相対的に多いものを出現率の多寡に応じて3種の記号で示したものが表2である。

3. 結果および考察—上述した4つの型のうち、最も該当数が多かったものは「対岸型」(図1, 2)であり、続いて「流軸型」(図3, 4), 「両岸型」(図5, 6), 「水平線型」(図7, 8)となる。以降では、型ごとに構図的特徴を述べていく。

(1) **対岸型**—この型は表2の4つの型のうち、最も多様な人工物と、唯一の自然物である樹木の映り込みが表現されたものである。この特徴は、対岸の樹木群が水面に映り込むことで水面の暗さに一層深みのある闇を作り出し、絵図全体に夜の暗がりが増強される中で、水面上の月光と人工光および多様な人工物の陰影が引き立てられた構図となり、闇の中の多様な倒景が享受できる。

(2) **流軸型**—特徴は「⑩橋」(表2)が7割以上の割合で水面に映し出され、流軸を作り出す兩岸を橋の陰影がつないでいる。水面上の光は「月光」のみならず兩岸からの「人工光」により流軸方向が増強されるように水面

全体を浮かび上がらせ、その中で「人工物」と「人物」が同時に映し出されることで、兩岸の生活景が水面上で見取れる。この兩岸の生活景は、水面上の兩岸をつなぐ橋の陰影により、その一体感がより強調されている。

(3) **両岸型**—視点が存在する手前側の陸上と対岸が同時に描写されたこの型は、水面には人工物と自然物ともにほとんど存在せず、「光」のみが中心となって構成される。その特徴は対岸側の「月」や人工光の光線が手前側の岸辺まで届いている絵図が4割存在し、兩岸の一体感が強調されている。さらに手前の陸上には、対岸を眺めるための視点場を意識させる事物(人物, 犬, 常夜灯)が表現され、対岸景に対するアフォーダンスの効果が創出されている。

(4) **水平線型**—水面上には「月光」のみが中心となって映し出され、水面夜景としては最も要素の少ない型である(表2)。水平線のある沖合方向から「月光」が差し込むことで水面上が明るく浮かび上がり、その明るさによって陸上の要素は自然物中心にシルエットが増強された構図で共通する。

4. まとめ—以上より本稿では、水面形態ごとにみた「水面夜景」として、4種の型ごとにそれぞれ違った情景をもつことを明らかにし、さらに各型の構図的特徴について明示した。その特徴とは「対岸型」「流軸型」では「人工物」と「人工光」による生活景の強調をはじめ、「両岸型」では多様な光による兩岸の一体感の強調、「水平線型」は月の水面反射光による自然物のシルエットの強調といったものであった。

今後は、アイマークレコーダを用い、水面夜景の構図的特徴を成立させる要素の抽出や現代人の印象について分析を進めていく所存である。

5. 参考文献

[1] 小林清親：『謎解き浮世絵叢書 東京名所図』、二玄社、2012
[2] 川瀬巴水：『木版画集』、阿部出版、2009

表 1 水面形態（型）別にみた構成要素と該当数

[凡例] ○印:水面を除くすべての構成要素/●印:水面に反射している構成要素

水面形態 (前橋と図心) 絵図番号	絵図名	製作年	①描かれている光の構成要素										②光以外の構成要素				
			A 自然光			B 人工光			C 自然物				D 人工物		E 人物		
			①月	②月光	③星	④室外灯	⑤室内灯	⑥山	⑦樹木	⑧雲	⑨建物	⑩橋	⑪舟	⑫護岸			
対岸型	23 夜の新川	大正 8 年			○		○						○				○●
	13 小千谷旭橋	大正 10 年	○●	○●					○					○●	○●	○	○●
	14 月明の加茂湖	大正 10 年		○●					○					○●			
	15 佐渡夷港	大正 10 年				○●	○●	○		○●	○●		○●				○●
	30 熊本春日町	大正 11 年		○●				○●	○	○●		○●				○●	
	20 出雲松江	大正 13 年	○	○●				○●	○	○●				○●	○●		○●
	24 桜田門	昭和 3 年		○●		○●			○●	○	○●		○●			○●	○●
	33 遠州新居町	昭和 5 年	○●	○●			○●			○		○●			○●	○●	○
	40 二重橋	昭和 5 年		○●		○●	○		○●	○	○		○●			○●	
	42 牛堀	昭和 5 年					○●		○●	○	○●		○●		○●	○	○●
	43 日光湯元温泉	昭和 12 年		○●		○●	○●		○		○●					○	
	32 月夜の富士(河合橋)	昭和 22 年		○●					○●	○	○		○●		○●	○	○
○合計[点(%)]	12(100.0)	3(25.0)	9(75.0)	1(8.3)	5(41.7)	9(75.0)	6(50.0)	9(75.0)	7(58.3)	11(91.7)	4(33.3)	6(50.0)	11(91.7)	7(58.3)		7(58.3)	
●合計[点(%)]	12(100.0)	2(16.7)	9(75.0)	0(0.0)	4(33.3)	7(58.3)	1(8.3)	6(50.0)	0(0.0)	7(58.3)	4(33.3)	6(50.0)	7(58.3)	5(41.7)		5(41.7)	
●/○(%)	-	66.7	100.0	0.0	80.0	77.8	16.7	66.7	0.0	63.6	100.0	100.0	63.6	71.4		71.4	
流軸型	3 東京小梅曳舟夜図	明治 9 年	○	○●	○		○●			○			○		○	○●	
	5 五本松雨月	明治 13 年	○	○●		○	○●			○				○●		○	
	29 鹿見島甲突川	大正 11 年	○	○●		○	○●		○	○			○●		○		
	18 但馬城崎	大正 13 年				○●	○		○	○		○●	○●		○	○	
	25 滝之川	昭和 4 年	○	○●		○●	○●			○		○	○●		○	○	
	28 大森海岸	昭和 5 年		○●		○●			○	○		○●	○●		○	○●	
	36 大鯉温泉(青森県)	昭和 10 年		○●			○●	○	○●		○●	○●			○●	○●	
	1 今戸橋茶亭の月夜	-	○	○●		○●	○●			○		○●	○●		○●	○●	
	4 御膳橋之図	-				○			○	○		○	○●			○	
	7 御茶ノ水堂	-		○			○●		○●			○	○●			○●	
○合計[点(%)]	10(100.0)	5(50.0)	8(80.0)	1(10.0)	7(70.0)	7(70.0)	3(30.0)	9(90.0)	5(50.0)	8(80.0)	8(80.0)	4(40.0)	7(70.0)	2(20.0)	9(90.0)		
●合計[点(%)]	10(100.0)	0(0.0)	7(70.0)	0(0.0)	4(40.0)	6(60.0)	0(0.0)	2(20.0)	0(0.0)	3(30.0)	7(70.0)	4(40.0)	2(20.0)	5(50.0)			
●/○(%)	-	0.0	87.5	0.0	57.1	85.7	0.0	22.2	0.0	37.5	87.5	100.0	28.6	55.6			
両岸型	6 大川岸一之橋遠景	明治 13 年	○●	○●		○●	○●		○	○		○●	○●		○●	○	
	2 今戸夏月	明治 14 年	○	○●					○●							○	
	10 金沢なかれのくるわ	大正 9 年	○	○●		○●			○			○			○	○	
	12 新潟五彩堀	大正 10 年					○●			○		○●	○		○		
	16 おぼろ夜(宮島)	大正 10 年				○			○								
	21 星月夜(宮島)	昭和 3 年		○●	○	○			○					○●		○●	
	27 明石町の雨後	昭和 3 年				○●	○●									○●	
	26 荒川の月(赤羽)	昭和 4 年	○●	○●			○●		○●	○	○			○●	○●	○●	
41 水戸遊沼広浦	昭和 21 年	○●	○●					○	○								
○合計[点(%)]	9(100.0)	5(55.6)	6(66.7)	1(11.1)	5(55.6)	6(66.7)	3(33.3)	8(88.9)	4(44.4)	6(66.7)	2(22.2)	2(22.2)	4(44.4)	5(55.6)			
●合計[点(%)]	9(100.0)	3(33.3)	6(66.7)	0(0.0)	3(33.3)	4(44.4)	0(0.0)	2(22.2)	0(0.0)	2(22.2)	1(11.1)	2(22.2)	2(22.2)	2(22.2)			
●/○(%)	-	60.0	100.0	0.0	60.0	66.7	0.0	25.0	0.0	33.3	50.0	100.0	50.0	40.0			
水平線型	8 高輪牛町龍月景	明治 12 年		○●		○	○●		○	○			○	○●	○		
	9 陸奥三島川	大正 8 年	○	○●					○			○			○		
	11 寺泊の夜雨	大正 8 年							○	○					○		
	44 月の松島	大正 8 年	○●	○●					○●	○							
	19 出雲日乃御崎	大正 13 年		○●					○	○							
	17 秋田八郎堀	昭和 2 年		○●	○				○	○			○				
	35 小樽の波止場	昭和 8 年		○●			○●						○●	○●			
	37 松島双子島	昭和 8 年	○●	○●					○	○●	○			○●	○●		
○合計[点(%)]	8(100.0)	3(37.5)	7(87.5)	1(12.5)	2(25.0)	2(25.0)	3(37.5)	7(87.5)	6(75.0)	3(37.5)	1(12.5)	3(37.5)	1(12.5)	5(62.5)			
●合計[点(%)]	8(100.0)	2(25.0)	7(87.5)	0(0.0)	1(12.5)	1(12.5)	0(0.0)	2(25.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(12.5)	2(25.0)	1(12.5)	1(12.5)			
●/○(%)	-	66.7	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	28.6	0.0	0.0	100.0	66.7	100.0	25.0			

表 2 各水面形態（型）において水面上に映しだされた各要素の出現割合一覧 [凡例] ◎: 70%以上 ○: 50%以上 70%未満 △: 30%以上 50%未満 空欄: 30%未満

水面形態	①月	②月光	③星	④室外灯	⑤室内灯	⑥山	⑦樹木	⑧雲	⑨建物	⑩橋	⑪舟	⑫護岸	E 人物
対岸型		◎		△	○		○		○	△	○	○	○
流軸型		◎		△	○				△	◎	△		○
両岸型	△	○		△	△								
水平線型		◎											

表 3 水面形態（型）の定義および該当絵図

水面形態	対岸型	流軸型	両岸型	水平線型
定義	水面が絵図を横切るように描かれており、水面と対岸のみが描かれているもの	絵図の手前から奥にかけて水面の幅が狭くなるように水面が強調されているもの	手前の岸と対岸で水面を挟むような構図になっているもの	水面の奥に明瞭な対岸はなく、水平線が広がるもの
該当絵図（一部掲載）	 図 1 [31.佐渡夷港]	 図 3 [14.五本松雨月]	 図 5 [16.大川岸一之橋遠景]	 図 7 [19.松島双子島]
	 図 2 [27.牛堀]	 図 4 [58.但馬城崎]	 図 6 [107.明石町の雨後]	 図 8 [284.月の松島]